（様式2）

令和7年度　施設指定管理者
モニタリングレポート（年次評価報告書）

施 設 名	**ひまわり児童館**
指定管理者名	株式会社日本保育サービス
指 定 期 間	令和7年 4月 1日 ～ 令和12年 3月 31日 （1期1年目）
所 管 課	子育て支援課

1　業務履行の確認・評価

	年次評価
適正な施設の運営・維持管理が行われているか。	A

【施設の運営に関する基本的事項】
配置基準を満たす人員体制を維持し、事故対応マニュアルの整備や日誌の共有を行うなど、安定した運営に努めている。環境変化に応じて課題を分析し、市との連携や職員応援体制を活用しており、業務は適正に行われている。

【自主事業に関する事項】
多世代交流スペースを活用した事業や、子育て支援事業、利用者ニーズを踏まえた行事等を計画的に実施している。自主財源を活用した行事や5館合同事業にも取り組み、関係機関や他館とも連携しながら、各事業を着実に実施している。

【施設の維持管理業務に関する事項】
館内の安全点検や衛生管理を行い、設備や備品を適切に管理し、施設環境を良好に維持している。

2　サービスの質に関する評価

	年次評価
提供するサービスの水準が確保されているか。 また、サービスの向上が図られていたか。	A

【利用者アンケート（満足度調査）に関する事項】

＜調査の概要＞

・令和8年1～2月に利用者アンケートを実施。

＜調査結果の概要＞

アンケート結果から、職員の対応、児童館の楽しさ、職員とのコミュニケーション、施設の利用しやすさ、環境の好ましさ、清掃状況において高い満足度が示されている。困っている際の職員の声かけや子どもの楽しそうな様子も評価されている。一方で、親同士の交流機会や子育て相談の利用については、「わからない」と回答する利用者が一定数見られる。

【自主事業に関する事項】
利用者の興味や関心を踏まえた事業展開を図っている。パステルアートなどアンケートの意見を反映した企画に加え、多世代交流や施設間連携も進め、事業内容の充実とサービス水準の向上が図られている。

【サービス水準や利用環境に関する事項】
こども会議で聴取した意見を備品や行事に反映し、利用者の声を運営に生かしている。緊急搬送時には館長が付き添うなど、丁寧な対応により安心して過ごせる利用環境の確保が図られている。

3　サービス提供の継続性・安定性に関する評価

健全な収支状況のもと、継続的・安定的にサービスが提供されているか。 また、団体の経営状況は健全か。	年次評価 A

【施設の収支状況に関する事項】

・指定管理料（令和7年度決算額29,750,000円）の中で、事業収支は黒字になっており、継続的にサービスを提供できている。

【団体の経営状況に関する事項】　　中央・北部・南部・西部・ひまわり児童館　共通事項

（株）日本保育サービスの経営状況の分析

・第22期（2025年4月1日～2026年3月31日）の損益計算書では、売上高は前期より増加している。

・営業利益、当期純利益金額ともに前期より増加している。

・貸借対照表の純資産合計からも財務内容は健全であり、この3年間において、売上高、当期純利益とも毎年向上しており、順調な経営状態であるといえる。

総合評価	A	【審査委員会コメント】 前年度比での利用者数30%増という結果について、休館日の変更により年間の開館日数が増えたことも一因と考えられるが、一時預かり事業をきっかけとした利用者の定着や、地域に根差した運営、利用者への丁寧な対応など、指定管理者の努力や工夫も利用者数の増加につながった点は評価できる。また、こども会議を通じて子どもの意見を運営に反映したり、多世代交流スペースや地域資源を活用した居場所づくりも展開した。さらに、利用者への丁寧な対応や緊急搬送時の付き添いなど、一人ひとりに寄り添った支援を行うとともに、子どもへの性暴力防止に向けた体制整備にも努めている。人形劇観劇会やバルーンアートなどの事業も充実しており、子どもの主体性を尊重し、安心して過ごせる環境と利用者満足度の向上につながるサービスが提供されていると評価できる。

【年次評価】　　（評価基準）

- S（優　良）：区分評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A（良　好）：区分評価が全てA以上。
- B（課題あり）：区分評価にBがあった。
- C（要改善）：区分評価にCがあった。

【総合評価】　　（評価基準）

- S（優　良）：市の要求水準を上回るサービスが提供されている。
- A（良　好）：市の要求水準に沿ったサービスが提供されている。
- B（課題あり）：サービスの内容の一部に課題がある。
- C（要改善）：サービスの内容に改善が必要である。